

最新
農業技術

花卉

vol.14

農文協



TSUYOSHI'S FLOWERS代表・浜塚剛さん(長崎県雲仙市)

特集

カーネーションづくり新時代

—日没加温,全国の腕利き農家事例,最新品種動向

●再注目のカーネーション栽培

〈カーネーションの流通実態と栽培の課題〉

〈広がる日没加温〉

静岡・山田弘志さん／愛知・本多清和さん／長崎・浜塚剛さん

〈一株増収,CO₂施用〉

北海道・藤田幸成さん／千葉・三井清和さん／香川・香花園

〈作期拡大と周年化をねらう技術〉

〈主要新品種の特徴〉

〈育種の着眼点と実際〉

〈国際動向〉 コロンビア,中国,ベトナムなど

●ネイティブフラワーの国内生産

ネイティブフラワーの生産と商品開発／愛知・渡会園芸

●染め花の実際

●トルコギキョウ&ダリアづくり

〈トルコギキョウ〉 栽培特性と経営上の課題／品種・系統と栽培特性
沖縄・株ゼロファーム 無加温冬春季の栽培

〈ダリア〉 冷涼地の無加温露地栽培

●変化朝顔づくり,伝統のホオズキ

本書の読みどころ ―― まえがきに代えて

◆再注目のカーネーション栽培

カーネーションは国内流通量が約6億本と、キクに次ぐ大品目だが、2012年に輸入本数が国産を上回り、2020年の全体に占める国産の比率は36%（約2.4億本）まで減少している。ところが、輸入によってカーネーションの周年安定供給が確立したことで、近年、国産が再評価。輸入が増えるにしたがい価格差は広がり、2016年以降は国産が約15円高くなっている。カーネーションといえば以前は赤系のスタンダードタイプが多くつくられ、母の日シーズン中心の需要だったが、近年は普段づかいの花としての需要が周年に拡大し、色や花形・タイプも多様で、暖地と高冷地・寒冷地とで産地リレーによって一年中出荷されている。

課題は産地の切り替わり時期（5～6月と10～11月）の品質向上と暖房代。カーネーションはかつてのスタンダード系に加え、スプレー系品種の導入が進むなかで高い栽培温度が求められるようになった。低くなると生育の遅れ、茎の強度低下、発色不良となるが、高温管理は経営を圧迫する。そこで注目技術の一つが日没加温。需要期の3～5月の採花本数・品質を左右する12～3月の夜温を17～21時の4時間のみを17度に上げることで1株当たりの本数が増え、品質も上がり、粗収益は2割増となる。このほか、温暖化による夏秋期の高温による減収なども課題。本書は、それらの課題にむけた研究と全国の農家実践を収録した。

◆ネイティブフラワーの国内生産

いま、南アフリカやオーストラリア原産のネイティブフラワーがインテリア志向の消費者を中心に人気だ。見た目のインパクト大で、ドライフラワーにしてアレンジメントやスワッグ（壁掛け）などに最適。近年、鉢ものもよく出回るようになった。栽培の難易度は高いが、国内でも栽培が広がりつつある。南アフリカ南端と西オーストラリアは5億5000万年前には地続きだったので、植物としては、それぞれのネイティブフラワーは兄弟である。愛知県田原市でプロテア類などをつくる渡会園芸さんは、鉢もののほか、自社でドライフラワーにまで加工して販売している。

◆染め花の実際

以前は、花を染めることは邪道であるといわれてきた。しかし、染め技術は農家や専門店を中心に日々深化し、最近様々な場面で見かけるようになった。元々そういう花色だったので、と思えるほど自然な染め花から、1花を複数の色に染め分けたものまで流通している。売る側は、染め花を導入することで、花色のバリエーションを増やすことができる。このコーナーでは、市販の着色剤と品目との相性など、使用法の基本から応用までを収録した。

◆沖縄のトルコギキョウ，冷涼地のダリア

トルコギキョウは大輪系品種が広まって新興産地が生まれている。特に沖縄は温暖な気候を活かして、台湾に代わる産地として輪ギクからの転換が進む。ダリアは東北の露地栽培を解説。課題の露心花(筒状花があらわれる)対策にも触れている。

◆伝統品目の生産

季節の行事やお祭りに欠かせない品目，アサガオとホオズキづくりについて収録。江戸の園芸文化を代表するアサガオは，変化朝顔の歴史から栽培までを解説。ホオズキは出荷タイミングを外さない栽培管理の実際を紹介。

本書は『農業技術大系花卉編』追録24号の内容を編集したものです。本書への転載を許諾いただいた執筆者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

2022年2月 農山漁村文化協会

最新農業技術 花卉 Vol.14 目次

カラー口絵 —— 南半球原産ネイティブフラワー

本書の読みどころ —— まえがきに代えて 1

◆再注目のカーネーション栽培

〈カーネーションの流通実態と栽培の課題〉

栽培特性と経営上の課題 …稲葉善太郎 (静岡県立農林環境専門職大学短期大学部) 7

栽培品種の現状と品種選択 …… 山中正仁 (兵庫県立農林水産技術総合センター) 18

〈広がる日没加温〉

EOD-heating 技術…… 加藤智恵美 (静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター) 31

日持ちの良さを活かし高品質・長期出荷 (静岡県・山田弘志さん)

…………… 加藤智恵美 (静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター) 37

栽培への改善意欲とていねいな管理で高い市場評価 (愛知県・本多清和さん)

…………… 保富正行 (愛知県東三河農林水産事務所田原農業改良普及課) 43

年間出荷本数の増加に向け, 保肥力の高い土壌を活かした細やかな栽培管理 (長崎県・

TSUYOSHI'S FLOWERS (浜塚剛さん)) …… 板村智明 (長崎県島原振興局) 51

〈一株増収, CO₂施用〉

疎植による定植株数の減少を採花本数でカバー (北海道・藤田幸成さん)

…………… 佐々木康洋 (北海道渡島総合振興局) 57

環境制御技術を活用した高収量・高品質生産 (千葉県・三井清和さん)

…………… 宮本直子 (千葉県安房農業事務所改良普及課) 69

日持ちの良さで消費者から強い支持, 出荷規格の見直しなど (香川県・香花園)

…………… 真鍋佳亮 (実際家) 75

〈作期拡大と周年化をねらう技術〉

夜間短時間冷房 (EOD-cooling)

…………… 東浦 優 (兵庫県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター) 81

養液土耕栽培 …… 山中正仁 (兵庫県立農林水産技術総合センター) 86

〈主要新品種の特性〉

早生豊産性のスプレータイプ‘フォルテ’やビジョンファミリーなどーイノチオ・フジ
プランツ ……石原義啓 (イノチオ・フジプランツ(株)) 101

高温に強いスプレータイプの‘ベビードール’やスタンダードタイプの‘ジミー’など
ーカネコ種苗 ……金丸直明 (カネコ種苗(株)) 107

花持ち性に優れた品種‘カーネアイノウ1号’ (愛知県育成)

……………戸田浩子 (愛知県農業総合試験場) 111

従来と異なる花形タイプ「ミニティアラシリーズ」 (香川県育成)

……………浜田佳代子 (香川県農業試験場) 117

‘だいすき’ ‘あこがれ’ などの萎凋細菌病抵抗性品種（長崎県育成） ……………鍵野優子（長崎県農林技術開発センター）	119
〈育種の着眼点と実際〉	
種間交雑の利用，近縁種との交雑とその後代の可能性 ……………二村幹雄（愛知県農業総合試験場）	123
生産者育種の挑戦と可能性—日持ちの良い花同士を交配，生産性を重視 ……………真鍋佳亮（実際家）	139
〈カーネーションの国際動向〉	
コロンビア，ヨーロッパでの栽培状況 ……………金丸直明（カネコ種苗株）	143
中国，ベトナムでの栽培状況 ……………石原義啓（イノチオ・フジプランツ株）	147
花卉の国際動向と日本の対応 ……………海下展也（クリザール・ジャパン株）	153

◆ネイティブフラワーの国内生産

南半球原産ネイティブフラワーの生産と商品開発 ……………海下展也（クリザール・ジャパン株）	167
プロテア類など—日本の気候にあった栽培体系を確立（愛知県・渡会園芸） ……………杉本貴亮（愛知県東三河農林水産事務所田原農業改良普及課）	179

◆染め花の実際

切り花着色剤の利用法 ……………中島聡史（パレス化学株）	187
染色生花の実際 ……………二渡希望（有）フローリストワタリ）	191

◆沖縄のトルコギキョウ，冷涼地のダリアづくり

〈トルコギキョウ〉	
栽培特性と経営上の課題—花の形質を中心に ……………福田直子（農研機構野菜花き研究部門）	197
品種・系統と栽培特性—2002年以降の需要の変化に注目して ……………福田直子（農研機構野菜花き研究部門）	207
無加温冬春季の栽培（沖縄県・株ゼロファーム） ……………兵頭 衛（実際家・株ゼロファーム・JA おきなわ）	216
〈ダリア〉	
冷涼地のダリア技術体系 ……………山形敦子（秋田県農業試験場）	232

◆伝統品目の生産

変化朝顔—歴史・観賞・栽培 ……………照井進介（（公益）東京都公園協会 六義園サービスセンター）	249
ホオズキー—出荷タイミングを外さない戦略 ……山西 央（静岡県西部農林事務所）	255